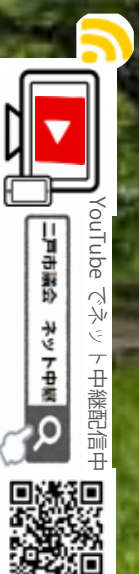


にのへ

市議会だより



61号
令和3年
12月1日 発行

仲間にタスキと希望を託す

「祝！東北中学校駅伝競走大会出場」

福岡中学校陸上部

9月定例会

— CONTENTS —

- 正副議長・各種委員会委員の就任・・・2
- 定例会及び決算の概要・・・4
- 決算特別委員会・・・6
- 補正予算など・・・9
- 審議結果、賛否の公表・・・12
- 一般質問・・・13
- 活動報告・・・18
- 特集 議会改革・・・20

新たな体制で

活力あるまちに

3つの常任委員会と議会運営委員会

総務常任委員会

税金、まちづくり、防災、住民登録・証明、ごみなどの生活に関することを担当します。



(後列左から時計回りに) 内沢委員、米田委員、岩崎委員、沼井副委員長、駒木委員長、菅原委員

文教福祉常任委員会

教育、文化・体育、健康衛生、福祉などを担当します。



(後列左から時計回りに) 三浦委員、小田島委員、田中委員、出堀委員長、田口副委員長

(後列左から時計回りに) 田代委員、新畑委員、國分委員、畠中委員、高村委員長、石輪副委員長



産業建設常任委員会

商工業、観光、道路、公園、区画整理、上下水道などを担当します。

(後列左から時計回りに) 田口委員、菅原委員、出堀委員、内沢副委員長、國分委員長、駒木委員



議会運営委員会

議会の日程や議事の取り扱い、進行や議会内のルールについて協議します。

広聴広報委員会

委員長 石輪成人
副委員長 新畑鉄男 (広聴部会長)、田口一男 (広報部会長)

広聴部会

議会ウェブサイト、議会報告会・市民との意見交換会を担当します。
新畑部会長、高村副部会長、米田委員、國分委員

広報部会

議会だよりの編集を担当します。
委員は最終ページをご覧ください。

令和3年8月27日に開催された臨時会において正・副議長選挙が行われ、新議長には岩崎敬郎議員が、副議長には三浦利章議員が選出されました。また、各常任委員会及び議会運営委員会、広聴広報委員会の委員が次のとおり改選されました。あらたな体制で「もっと住みよいまち」をめざし頑張ってまいります。任期折返しのこれからの2年間は、市民の意見を市政に反映させる「議会改革」をさらに推し進めます。議員17人が一丸となり、市民福祉の向上と活力あるまちづくりの実現に向けて取り組んでまいります。

就任の「あいさつ」

市民から信頼される
力強い議会づくりを
目指します！



議長 岩崎敬郎

シンツールとしてIT技術を活用しながら、議会機能の強化を目指すものです。市民の皆さまが市議会へ参画しやすい環境を整え、ご意見を市政に反映することが議会改革の目標です。
皆さまの付託にお応えするよう誠心誠意邁進してまいります。皆さまもお気軽に声をお寄せください。また、議会へ傍聴にお越しください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

このたび、議員各位のご推挙をいただき、正副議長に就任いたしました。改めてその重責を痛感し、身の引き締まる思いを感じております。

私たちは、任期末まで務めるにあたり、より一層市民の皆さまに開かれた議会をめざし、議会運営の活性化や効率化を図るため、議会のICT化を進める覚悟であります。これは単なるデジタル化ではなく、人と人をつなげるコミュニケー

議会機能を強化し
市民への的確な情報提供に
努めます！



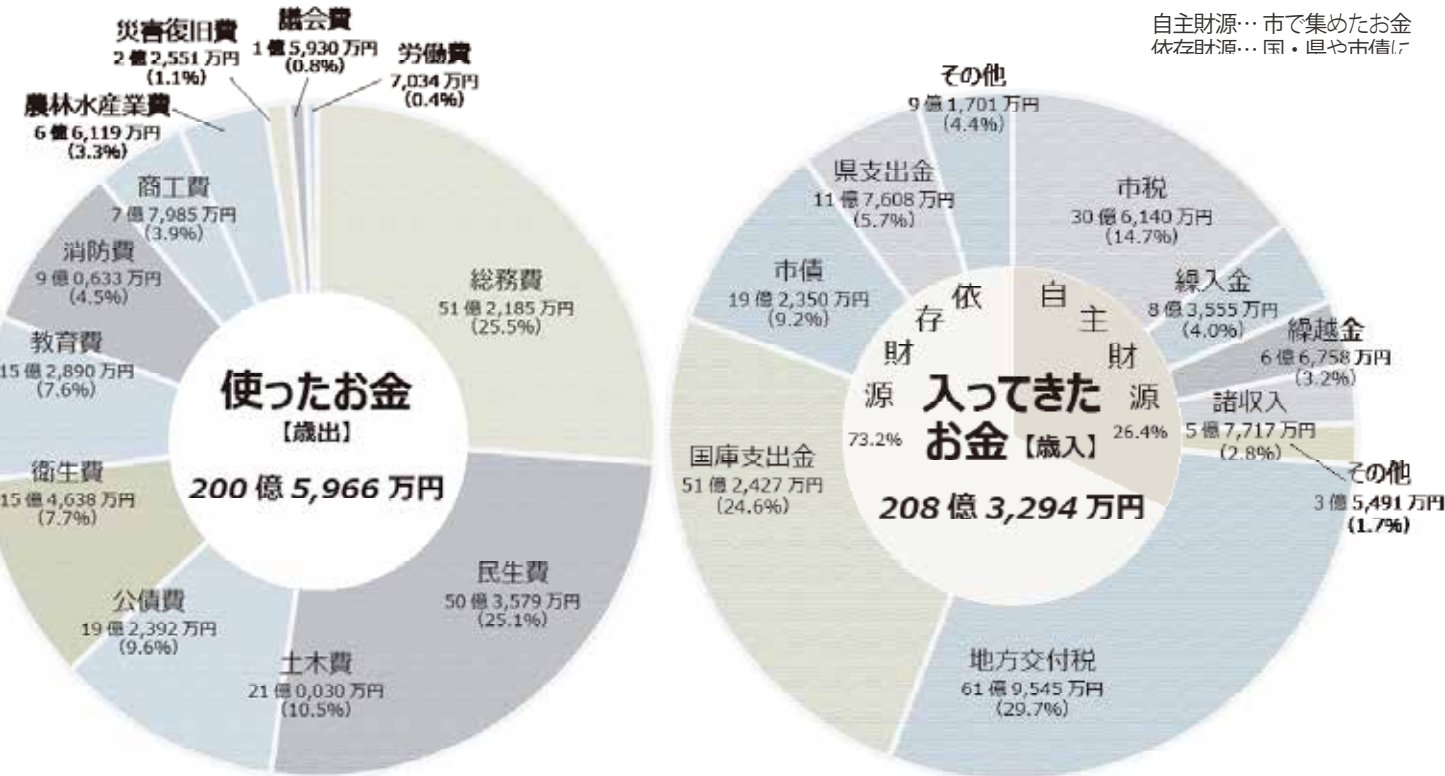
副議長 三浦利章

【議長選挙結果】	
岩崎敬郎	7票
田代博之	7票
無効票(白票)	3票
※最多得票者が2名であったことから、公職選挙法第95条を準用し、くじにより選出しました。	
【副議長選挙結果】	
三浦利章	13票
無効票(白票)	4票



一般会計
決算内訳

一般会計歳出額は 200 億 5,966 万 3,036 円



一般会計の
主な使い道

こんな事業に
使われました

民生費 （高齢者、児童など福祉にかかるもの） 50 億 3,579 万円 ・病児等保育事業 2,537 万円 ・子ども医療費助成事業 1,434 万円	総務費 （情報管理、市バス運行、まちづくり、職員人件費など） 51 億 2,185 万円 ・公民連携まち再生事業 5,113 万円 ・移住・定住推進事業 506 万円
土木費 （道路や河川の整備・維持にかかるもの） 21 億 0,030 万円 ・道路新設改良舗装事業 1 億 8,421 万円 ・金田一近隣公園整備事業 3,386 万円	衛生費 （予防接種、ごみ処理などにかかるもの） 15 億 4,638 万円 ・予防接種助成助成事業 2,856 万円 ・ロコモティブシンドローム予防事業（※） 1,144 万円
教育費 （小中学校、学校給食、社会教育事業などにかかるもの） 15 億 2,890 万円 ・小学校トイレ改修事業 2,822 万円 ・公民館整備事業 1,928 万円	農林水産業費 （農地整備、農家支援などにかかるもの） 6 億 6,119 万円 ・農業農村直接支払事業 1 億 4,222 万円 ・森林環境整備事業 1,007 万円
消防費 （消防活動、消防施設整備などにかかるもの） 9 億 0,633 万円 ・防災行政無線等整備事業 2 億 2,824 万円 ・消防施設整備事業 4,004 万円	商工費 （観光イベント、漆振興、企業誘致などにかかるもの） 7 億 7,985 万円 ・中小企業融資事業 1 億 1,984 万円 ・滴生舎維持管理事業 4,360 万円



※ロコモティブシンドロームとは加齢などに伴い体を動かす機能が低下することで、予防事業は動ける能力を維持するものです。



9月
定例会

令和2年度決算全9会計を認定

実質収支は7億8937万3千円の黒字

9月定例会は、9月6日から24日までの19日間開催され、本会議や委員会などで活発な議論が交わされました。審議の結果、市長より提出された令和2年度決算認定9件と、補正予算案等の議案12件及び諮問2件を審査し、全て原案のとおり認定・可決されました。また、報告事項3件が行われたほか、議員提出の意見書案4件のうち2件と決議案1件が可決されました。一般質問では8人の議員が登壇し、市政や教育行政全般について市の考えを質しました。

決算の概要

令和2年度の一般会計と各特別会計の歳入歳出決算を総括すると、歳入決算総額は前年度に比べ16・72%増の268億6628万0840円、歳出決算総額は16・56%増の259億9498万5450円となっています。歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は8億7129万5390円で、この形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源8192万1千円を差し引いた実質収支は7億8937万3千円の黒字となっています。また、当年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は1億2063万1千円の赤字となっており、これから積立金や基金取崩額を勘案した実質単年度収支は6044万5千円の黒字となっています。

会計別決算状況

区 分		歳 入	歳 出	差引額
一般会計		208 億 3,294 万円	200 億 5,966 万円	7 億 7,328 万円
特 別 会 計	国民健康保険 事業勘定	27 億 7,932 万円	27 億 6,573 万円	1,359 万円
	国民健康保険 診療施設勘定	2 億 2,712 万円	2 億 2,671 万円	41 万円
	下水道事業	8 億 4,361 万円	8 億 1,210 万円	3,151 万円
	生活排水処理事業	5,046 万円	4,580 万円	466 万円
	簡易水道事業	9,436 万円	9,114 万円	322 万円
	土地区画整理事業	17 億 1,937 万円	16 億 7,849 万円	4,088 万円
	介護サービス事業	0 万円	0 万円	0 万円
水 道 事 業 会 計	後期高齢者医療	3 億 1,910 万円	3 億 1,536 万円	374 万円
	計	268 億 6,628 万円	259 億 9,499 万円	8 億 7,129 万円
区 分		収 入	支 出	差引額
水 道 事 業 会 計	収益的収支	7 億 2,317 万円	6 億 5,636 万円	6,681 万円
	資本的収支	3 億 1,643 万円	5 億 6,452 万円	△ 2 億 4,809 万円
		不足額 2 億 4,809 万円は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税資本的収支調整額で補てんしています。		

※端数処理のため計が一致しない部分があります。

総務分科会

2年度一般会計決算 移住・定住促進事業

問 昨年度の移住相談件数と移住支援補助金交付件数。

答 移住にかかる相談件数は17件、主に移住支援制度の内容についてであった。実際に移住支援補助金の交付をしたのは7件、移住者の年代は20、30代の方が多い。

問 コミュニティバス運行事業。

問 免許返納により困っている方への対応を伺う。

答 令和2年度に「二戸市地域公共交通計画」を策定したが、これは3年間かけて聞き取りしたり暮らしの足の確保について話し合ってきたものである。その中では、市街地は利便性の良いJRバスや県北バス、タクシー



全国にファンが広がる二戸産サクランボ

文教福祉分科会

2年度一般会計決算 新型コロナウイルスワクチン接種事業

問 コロナワクチン接種体制は。

答 令和2年2月に対策室が整備され、専任職員4名、兼務4名の体制を組んで対応した。

問 健康マイレージ事業。

問 事業終了後の対応はどうなっているのか。

答 各種健診の受診や保健事業等への参加などの意識向上に取り組んだ。現在は、保健師による健康状態未把握者や要健康指導者への対応等、訪問活動にシフトしており、健診率を全体的にアップさせている。

問 認知症の実態把握。

問 人数把握と対策は。

答 発症人数は把握していない。対策事業としてはVR（バーチャルリアリティ）体験をする取り組みや、介護者支援として認知症カフェを開催した。介護サービスを活用するなど、若年層の認知症や加齢による認知症等に柔軟に対応していく。



ワクチン接種会場の様子



ある日の給食メニュー「へっちょこだんご」

お金の使い道をチェック！ 決算特別委員会



全議員で構成する決算特別委員会では、委員長に畠中泰子議員が、副委員長に石輪成人議員が選出されました。

委員会と所管の分科会において詳細にわたり審査をした後、最終日に各分科会の報告を受けて採決が行われました。特別委員会において審議し採決した結果、令和2年度一般会計と7つの特別会計、水道事業会計の計9会計、全ての歳入歳出決算を「認定すべきもの」と決しました。

委員会での質疑

2年度決算全体

決算の総括

問 実質単年度収支が3年ぶりに黒字に転じたが、コロナはどう影響したか。

答 厳しい財政状況の中、突然のコロナ対応をしながら事業を展開した。今後もコロナ蔓延による景気の低迷が予想されるが、人口減少に負けない、暮らしやすいまちの実現に向けて取り組んでいく。

主要事業の評価

問 全体的な成果と、次年度に生かすべき反省点を伺う。

答 まちづくりとしては、金田一温泉・九戸城・天台寺周辺の公民連携事業と、二戸駅周辺の土地区画整理事業の、2大事業の進捗がみられた。試行錯誤的な状況もあったことが



二戸産3種の肉を使用「ぶっとべメンチカツ」



めざせ！国際人 小学生も英語学習

健康増進分野

問 健康診断の結果が要指導や要医療となった方への対応は。

答 保健師などが保健指導を行う。とりわけ要医療の方は重症化しないよう医療機関につなげている。



手入れされていないカラマツ林

農林分野

問 森林所有者意向調査の後に、間伐や林道整備などの災害防止を含めた山の管理に至るような想定はあるか。

答 同調査は山の状況把握と所有者の意向を調査し、管理の団地化を図るもの。林道整備などは別事業で検討していく。

産業建設分科会

2年度一般会計決算

コロナの影響と支援策
市内の飲食・宿泊・
交通事業者への影響は、
対する支援策は。



コロナから「地元の味」も守ろう！

農地利用意向調査

問 耕作放棄地の調査
結果をどう活かすか。

答 回答率がよくないので、回答いただくよう努力しながら、調査方法についても見直すよう検討をする。地域農業の現状と課題を把握し、農地が耕作可能なうちに耕作できる人につなげ、遊休農地や耕作放棄地を少なくすることに役立てたい。

鳥獣被害対策
問 イノシシやハクビ
シンなどへの対策は。
答 被害対策支援事業補助金により爆音機や電気柵を設置した例が



収穫前の果物が被害に…

ある。農林課と駆除担当課とが連携して補助制度の利用等の助言をしていく。

2年度下水道事業特別会計決算

問 公共下水道のメリットは。

答 家庭においては汲取料などの定期的な費用がかからないこと。市全体では、水質が68%普及して川の水質が改善されたほか、蚊やハエも少なくなり生活環境がよくなったことである。

2年度区画整理事業特別会計決算

問 事業の進捗状況は。

答 社会資本整備交付金が7億8千万円措置されたことにより、二戸駅周辺柵ノ木市民会館線の整備に大きな進捗が認められた。今後も工事のペースを維持しながら着々と進めていく。

決算認定以外の
主な議案

議決案件

二戸市過疎地域持続的発展計画の策定について

可決

地域全体の人口減と高齢化が進む中、「人づくり」と「公民連携」を軸として社会情勢の変化に対応しながら、地域の持続的発展に向けた事業展開を図るための計画を策定するものです。

補正予算

令和3年度一般会計補正予算(第8号)

可決

◆補正額 6億3288万円

前年度決算にともなう繰越金7億2千万円を予算化するとともに基金積立、生活路線となる鉄道や道路の維持にかかる経費を計上するものです。

【主な内容(歳出)】

- ・財政調整基金積立金 3億6300万円
- ・交通運輸対策費 2667万円
- いわて銀河鉄道の利用促進にかかる負担金や運航支援の補助金など
- ・公民連携まち再生事業費 2008万円

報告

○令和2年度二戸市健全化判断比率及び経営健全化資金不足比率の報告について

◆要旨 普通会計は実質赤字は生じておらず、公債費比率、将来負担率比率も対前年度で低下、また各会計において資金不足は生じておらず良好な状態である。

○教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について

◆要旨 令和2年度における教育

討論

決算認定分

認定第6号 2年度区画整理事業特別会計決算

賛成 畠中 泰子 議員

国の交付金増にともなう6億円もの事業費増額は、移転長期化により市内中心地域が停滞する不安を解消したいという当局の思いによるものである。しかし、移転の対象となっている高齢の住民にとっては、仮住居探しが大変な負担となっている。職員による細やかな相談窓口など体制を整えることにより、住民から理解や納得が得られて真の「楽しく美しいまちづくり」となるよう求め賛成する。



道路が拡幅され、まちなみが変わる大村地区

決議願第3号 「生理の貧困」への対応を求める意見書

賛成 田口 一男 議員

「生理の貧困」については、政府が取りまとめた女性活躍・男女共同参画の重点的方針2021に盛り込まれたほか、コロナ禍でクローズアップされ、考えざるを得ない状況となっている。女性から生まれた我々は、女性を大切にしなければならない。タブー視せずに日常的な問題として、トイレにトイレットペーパーがあるように、女性トイレに生理用品を置くのが当然、という社会をつくる必要があると考えて賛成する。

賛成 畠中 泰子 議員

米価の大暴落が問題になっているなか、コロナによる需要減も重なって、このままでは米作りや地域農業に深刻な影響を及ぼしてしまふ。政府による過剰在庫の緊急買入れ、及びその米を生活困窮者への食糧支援や海外援助への活用、さらにはミニマムアクセス米の輸入量調整、これらを求めることが国民的な要求であると考え、賛成する。

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦について

適任

次の委員候補者について適任とする答申をしました。

【候補者】

二戸市堀野 小林 光子氏
二戸市安比 千葉 隆氏

議員発議

○教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

可決

教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の負担割合の復元を国会及び政府に求めるものです。

可決

○コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

令和4年度地方税制改正に向けて、ポストコロナ禍を展望した地方行財政の充実を強く政府に求めるものです。

○「生理の貧困」への対策を求める意見書

経済的な理由により生理用品が購



整備が進む二戸駅前

○議会改革推進特別委員会設置に関する決議

可決

二戸市議会として議会改革を推進するため特別委員会を設置するものです。

※詳細は特集ページを参照

本会議での質疑

3 年度一般会計
補正予算（第8号）

新型コロナウイルスの影響

問 新型コロナウイルスの影響及び昨年以上に厳しい市内の景況感をどう捉えているか。

答 コロナの長期化により市内経済は厳しいことから、国の臨時交付金をはじめ、必要に応じて市の単独費を導入しながら、事業者支援や消費喚起に結びつけていく。

問 コロナ対策の長期化にともない、職員が夜遅くまで、あるいは土日休まず時間外勤務をしている。現状の把握や健康面での配慮はしているか。

答 ワクチン接種などさまざまな業務が集中している。部署を超えた応援体制や、会計年度職員増員など対応をしているが厳しい状況



排雪作業の状況

である。管理職は現状を把握し、指導や調整を行っている。働き方改革を踏まえ状況を把握しながら対応していく。

除雪計画
問 昨年度比較で工夫した点を伺う。

答 出勤基準は変わらないうが、昨年度導入した除雪管理システムにより、パソコン上で稼働場所が把握でき、効率よく作業ができるようになった。また、除雪後の排雪については、業者と相談して進めていく。

総務

常任委員会

二戸市過疎地域の持続的発展計画の策定について

問 基本目標の根拠は。

答 数値は総合計画であげたものをこれまでの実績等も踏まえ、それぞれの分野ごとに設定した。総合計画と過疎計画とを同方向に進めることで目標値も達成していきたい。

3 年度一般会計
補正予算（第8号）

公民連携まち再生事業の過疎地域持続的発展支援事業費補助金
問 事業内容は。

答 公民連携によるまちづくりと連動させて展開していくために、①フードダイバーシティ支援、②シェアサイクル導入、③地域体験商品造成、④足湯整備、以上の4事業を対象とした。



市はフードダイバーシティ（食の多様化）に取り組んでいます。

①はアフターコロナを見据えインバウンド事業や健康志向に対応したメニュー提供等を進めながら、食の多様性をまちの中に活かした取り組みを展開していくものである。
②は交通手段のひとつとするため実証実験等も含めて導入まで進めるものである。
③は昨年度までテロフル事業等で地域の宝や食などを発信したものを実際に体験してもらうものであり、運営を担う人づくり等も含めて実施するものである。
④は金田一温泉周辺地域に集客するため、同地域に新たな交流拠点として整備するものである。

会議録を公開しています

本会議の会議録は、市役所1階情報公開コーナー、市立図書館、浄法寺カシオペアセンターに備えてあります。平成18年度以降の会議録は二戸市議会ウェブサイトから閲覧・検索することもできます。

なるほど～そういうことかあ！



一般質問をラジオで放送しています

定例会の一般質問は、カシオペアFM（周波数77.9MHz）で録音放送をしています。放送日程は、二戸市議会またはカシオペアFMのウェブサイトでご確認ください。

文教福祉
常任委員会3 年度一般会計
補正予算（第8号）

保育対策総合支援事業

問 同事業補助金の内容は。

答 民間保育所における保育士の業務負担軽減を図るために、子どもの登降園管理や保育計画、記録等の周辺業務や補助業務にICTを活用するものである。国庫補助金を活用して業務システム導入に必要な費用を支援する。

民生費寄付金

問 寄付をされた方に謝礼だけでなく、事業報告もしているのか。

答 ふるさと納税では個別に礼状を出している。指定された使い道の活用内容は市のウェブページで紹介している。



寒さに耐えて甘みを増すリンゴ…ふるさと納税で



二戸市版「家庭教育の手引き」

産業建設
常任委員会3 年度一般会計
補正予算（第8号）

浄法寺漆産業振興基金積立金

問 補正後の基金残高は。今後の方針は。

答 補正後で8142万2千円となる。漆振興事業は財源確保が課題ではあるが、国県の有効な補助事業を確保しながら進めていく。産業力強化促進事業補助金
問 どのような内容のものか。

答 県北広域における産業競争力強化や若者の地元定着を図るため、中小企業が生産向上等に資する設備導入を行う場合に要する経費の3分の1を補助するものである。補助金の上限は1千万円、県と市が半分ずつ負担するので市負担分は5百万円である。



朝の暗いうちに効率よく除雪を終える

討論



議案第5号 3 年度一般会計補正
予算（第8号）

賛成

内沢 真申 議員

過疎地域持続的発展支援交付金事業について、少し理解しがたい面があった。地域企業と連携し、資源を生かしたソフト的事業展開する目的には賛同するが、足湯整備については構想が不十分なまま走りながら形を整えるといった手法で疑問が残る。最初に方向性や事業費を固め、それに沿って進めながら、不具合の際には議会に知らせていただきたい。確かな手順で進めていただきたいという意見を付して賛成する。

賛成

田口 一男 議員

コロナ感染予防対策に尽力している関係者に感謝する一方で、職員の時間外勤務増となっている現状が指摘された。これは市町合併時の職員数削減が要因であると考えられる。コロナなど不測の事態に対応できる人員の確保、特に保健師の確保を要望するとともに、金田一温泉の足湯については、今後も引き続き、より深く協議いただくことを求めて賛成する。

12月定例会が
はじまりま～す！

今回の定例会は、12月7日（火）に開会の予定です。

議論が白熱する様子は議場で傍聴いただくのが一番ですが、現在コロナ対策のため議場の入場制限を（9名までと）しています。YouTubeの生配信や録画配信でも臨場感あふれる論戦が視聴できます。詳しい日程は二戸市議会のウェブサイトでご確認ください。「二戸市議会」で検索ください！

市政を問う！

一般質問は、議員が市政全般にわたる事業の執行状況や考え方などを執行機関に質問するものです。
本定例会では8人の議員が、下記の項目について質問に立ちました。

8人の議員が一般質問

出堀 満則 議員 P 13

- 1. 後期基本計画について
- 2. 市長選について

新畑 鉄男 議員 P 14

- 1. コロナワクチン接種について
- 2. 今後の経済、生活支援について
- 3. 休耕地の活用について

田口 一男 議員 P 14

- 1. 長寿社会の地域公共交通について

沼井 賢壮 議員 P 15

- 1. 二戸市における新型コロナウイルス感染症に対応した各事業の評価について
- 2. 高齢者の通院支援について
- 3. 二戸市における災害対策の現在と今後について
- 4. 高校魅力化推進事業の今後について

高村 人司 議員 P 16

- 1. 市内小中学校のエアコン利用について
- 2. 防災行政無線について

米田 誠 議員 P 16

- 1. 奨学金返還支援制度について
- 2. 学校におけるコロナ対策について

國分 敏彦 議員 P 17

- 1. 天台寺の観光振興について
- 2. 地域経済の活性化について
- 3. 児童生徒の学力・学習状況調査の結果について

畠中 泰子 議員 P 18

- 1. 深刻な仮住宅不足の土地区画整理事業
- 2. 新型コロナウイルス感染症対策
- 3. 生理の貧困



出堀 満則議員

農畜産物販売戦略の現状と課題は
若手農家の提案を生かすことが重要

問 日本短角牛、雑穀夏恋、カシオペアブルー、冬恋の販売戦略について伺う。
答 市長 日本短角牛は全体的な個体数が少ないことから、生産地維持拡大により素牛の増頭支援を行っており、今後も継続することが必要と考える。雑穀については、健康志向の高まりから需要増加の傾向にあるものの、生産量が課題で、これを改善するため二戸農業改良普及センタ

ー及び県北農業研究所において栽培機械化の実証実験に取り組んでいる。サクランボの夏恋、ブルーベリーのカシオペアブルー、リンゴのはるか冬恋は、ブランドフルーツの三柱として生産販売を進めており、贈答用として市場からも消費者からも高い評価を得ている。市内外の方に二戸市の農畜産物の魅力を知ってもらう取り組みは重要である。若手農家の意見や提案を販売戦略に生かしていきたい。



大粒であま〜いカシオペアブルー

問 転倒予防都市宣言
官民一体で取り組んだ集大成として、転倒予

答 市長 第2次総合計画画では健康寿命延伸を目指しており、その後期計画の中で、若い時からの運動習慣づけやロコモティブシンドローム予防などに取り組んでいる。今後も転倒予防を含めた広い視野での健康づくりを意識してもらい、この宣言が生涯にわたる元気な暮らしにつながる方向性となるよう検討していく。

問 市長3期目立候補は任期があと4か月である。3期目についての考えを伺う。
答 市長 1期目では小保内前市長の政策を引き継ぎ、第1次総合政策の総仕上げを行い、2期目では公民連携事業や区画整理事業、福祉、子育て、教育等、各分野の施策を進めてきた。山積する課題を真正面からとらえ、持続可能なまちづくりを実現していくために、誠心誠意全力で取り組み覚悟をもって、令和4年1月の二戸市長選挙に立候補することを正式に表明させていただく。

【審議結果】

議案番号等	議案名等	審議結果
議案	1 二戸市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）
	2 二戸市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例を廃止する条例	可決（全員賛成）
	3 二戸市過疎地域持続的発展計画の策定について	可決（全員賛成）
	4 令和2年度二戸市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決（全員賛成）
	5 令和3年度二戸市一般会計補正予算（第8号）	可決（全員賛成）
	6 令和3年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全員賛成）
	7 令和3年度二戸市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
	8 令和3年度二戸市生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
	9 令和3年度二戸市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
	10 令和3年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全員賛成）
	11 令和3年度二戸市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
	12 令和3年度二戸市水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
認定	1 令和2年度二戸市一般会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
	2 令和2年度二戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
	3 令和2年度二戸市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
	4 令和2年度二戸市生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
	5 令和2年度二戸市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
	6 令和2年度二戸市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
	7 令和2年度二戸市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（賛成多数）
	8 令和2年度二戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員賛成）
諮問	1 人権擁護委員候補者の推薦について	適任（全員賛成）
	2 人権擁護委員候補者の推薦について	適任（全員賛成）
報告	1 令和2年度二戸市健全化判断比率及び経営健全化資金不足比率の報告について	報告
	2 令和2年度非強制徴収債権の放棄の報告について	報告
	3 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について	報告
発議	1 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	可決（賛成多数）
	2 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決（全員賛成）
	3 「生理の貧困」への対策を求める意見書	否決（賛成少数）
	4 新型コロナ禍における米価下落に対する緊急対策を求める意見書	否決（賛成少数）
	5 議会改革推進特別委員会設置に関する決議	可決（全員賛成）

賛否の公表 採決で賛否が分かれた案件の結果です。氏名の上の数字は議席番号

議案名	1 畠中 泰子	2 田口 一男	3 (欠 員)	4 岩崎 敬郎	5 沼井 賢壮	6 小田 島行伸	7 三浦 利章	8 新畑 鉄男	9 駒木 昇	10 高村 人司	11 出堀 満則	12 石輪 成人	13 米田 誠	14 菅原 恒雄	15 田中 勝二	16 國分 敏彦	17 内沢 真申	18 田代 博之
認定第2号 2年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	×	×	—	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号 2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	×	×	—	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	○	○	—	議	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
発議第3号 「生理の貧困」への対策を求める意見書	○	○	—	議	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
発議第4号 新型コロナ禍における米価下落に対する緊急対策を求める意見書	○	○	—	議	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×

※議長は採決には加わりません。 ※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席

議会のネット中継



議会が始まると、インターネットにてライブ中継映像をお送りしています。また、過去の映像から最新の映像まで録画映像を配信しておりますので、いつでも本会議を視聴できます。
右のQRコードからアクセスしてください。





新畑 鉄男 議員

問 ワクチン接種の今後の対応及び園児、小中学生の予防対策はどのように考えているのか。

答 市長 11月末までの接種完了を目標に、必要となる接種回数を確保するため、二戸医師会等と接種体制について協議を進めている。対象者で接種を行っていない方は、令和4年2月末までの接種期間内に予約いただくよう期待している。園児などへの対策としては、周囲の大人がワ

クチン接種を積極的に行い、子どもへの感染リスクを低減していくことが重要である。今後も基本的な感染対策と衛生管理に十分に配慮していく。

答 教育長 小中学生の感染予防対策は文部科学省の「学校の新しい生活様式」の通知に基づき行っており、各学校の実情に合わせた感染対策に取り組んでいる。具体的には毎朝の検温や手洗い、マスク着用の徹底、3つの密の回避、

教室内の換気、校舎内の清掃・消毒の徹底を行っている。部活動については、原則として校内で2時間以内とし、練習試合及び合同練習は禁止することとして通知している。

を開設し、自立相談支援事業を実施している。二戸市社会福祉協議会等と連携を図りながら自立支援を進める。企業への支援は、その時々状況に応じて必要な施策を検討して実施したいと考えている。

経済・生活支援

問 困っている企業や家庭に対して、市の支援は考えているのか。

答 市長 生活困窮者支援として、委託事業により、くらしの相談窓口

休耕地の活用

問 耕作放棄地にならないような活用施策はあるか。

答 市長 市の休耕地面積は令和3年度で

351ヘクタールとなっており5年間で16ヘクタールほど増加した。この要因は、米価の低迷や高齢化などによるものと認識している。活用については、地域の担い手である認定農業者など中心経営体へ集積するような取り組みを進めている。



豊かな実りを引き継いで



田口 一男 議員

問 高齢化にともない高齢者ドライバーや交通弱者も増加する。また、悲惨な事故を防ぐため免許返納する方もいる。これら

治体が公共交通を担う時代となった。免許返納は、事故防止と生活維持の相反する側面がある。集落が点在する地域に配慮し、生

答 市長 20年後の高齢者人口予測で、令和22年には65歳以上の人口が全人口の43・7%を占める。バス・タクシーなど民間交

院など一般の交通機関を利用するのが困難な場合は、福祉有償運送による外出支援サービスや訪問介護サービスを活用いただいたり、

の方に対するサポートをどう。

答 市長 高齢化社会における地域公共交通の確保は、人口減少や高齢化が進む中で多くの自治体が抱える共通の課題である。乗客の減少により路線の維持が難しくなったため、自

活の足である交通手段を確保するなど、高齢者の生活環境づくりに努める。

問 過疎地域における20年後の高齢者人口比率に向けた、地域公共交通対策と、障がい者等身体の不自由な市民に対する施策についてどう。

通の維持が課題と考えている。行政に限らず、地域住民や民間の輸送資源など、地域全体の交通網づくりが必要であることから、利便性と持続可能な交通網を整備するために、二戸市地域公共交通計画を策定した。高齢者、障がい者、あるいは身体が不自由な方が、通

障がいがある方へはタクシー券の支給や通院介護などの外出支援を行ったりしている。デマンド交通の導入については、地域にあった形を協力企業と連携しながら検討していく。



地域の足 にこにこ号



沼井 賢壮 議員

問 新型コロナウイルス感染症に対応した各事業の評価をどう。

答 市長 昨年度実施した新型コロナウイルス対策は、①国の特別定額給付金事業など生活支援に対して7事業、②感染症予防のための避難所対策として26事業、③地域経済への支援として13事業、④新しい生活様式を見据えたICT化の整備として6事業である。総額で約42億円の事業を実施した。市民の安全・安心な暮

らしを守りながら新しい生活様式への対応を進めるとともに、市内経済を下支えし、雇用の維持や事業継続の一助になったと認識している。

高齢者の通院支援

問 交通手段を持たない高齢者に対し、市外医院への通院支援は検討できないか。

答 市長 現在の通院支援は二戸管内の医療機関が前提となっており、



通院支援の強い味方「介護タクシー」

それ以外は、家族や親族の介助により公共交通機関やタクシーを利用している状況である。

今後の災害対策

問 水防法の改正により防災マップ改訂が急務では。市における災害対策の現状と今後の取り組みについてどう。

答 市長 防災マップは市民一人一人の命を守る行動につながるもので、データ更新したもの

を作成し、お知らせする必要があります。これまで優先度を考慮し、防災行政無線のデジタル化更新工事を先行し、それが今年度完了したので、来年度配布に向け更新作業を進める。現在ハード面ではデジタル化のほか緊急自然災害防止対策事業、ソフト面では地域防災計画により防災訓練、出前講座、消防団員の機能別団員制度の導入などを実施している。今後も、優先度を考慮して、国県の補助金を活用しながら計画的に事業を進めるとともに、市民に防災意識を高めていただく取り組みもしていく。



高村 人司 議員

問 小中学校のエアコン使用状況及び児童生徒や保護者からの要望等について伺う。

答 教育長 令和2年5月25日付けで各学校に使用基準を通知しており、その内容として使用期間はおおむね6～9月、温度設定は27度を基本としている。エアコンの使用記録を残している学校は少ないため正確な日数は不明ではあるが、ほとんどの学校が7月中旬からほぼ毎日使用したとの報告を受けて

新防災行政無線

問 聞こえに対する問い合わせや苦情及びその対策について伺う。

答 市長 令和4年度内にアナログ方式の運用停止を控え、元年度から更新工事を行っている。無線のデジタル化に合わせて屋外スピーカーを高性能化したものが、以前に比べて聞こえにくくなったという指摘がある。その一方で、時報のチャイムがうるさいとの苦情もあり、相反する対応に苦慮している。スピーカーを増設したので、現在施工業者とスピーカーの音量や角度を調節している。併せて、スマートフォンなどによるSNSや防災アプリ、



更新した防災行政無線屋外拡声子局

問 現在の貸し出し状況について伺う。

答 市長 8月末現在の貸し出し状況は4808台となっている。内訳は家庭での利用4496台、これで市内全世帯の約4割に普及したことになる。他は学校や福祉施設、民間事業所の利用が312台。防災に不安がある方や防災無線が聞こえにくい方に、随時貸し出しをしている。

温度設定は27度を基本として児童生徒の体調を考慮

小中学校のエアコン使用状況は

防災ラジオを使用した伝達手段の多様化も図っていく。

奨学金返還支援制度の整備は

若者の定住と経済活性化のため検討



米田 誠 議員

問 県内各市町村の奨学金返還支援制度の整備状況と三戸市のこれまでの検討状況、今後の方針について伺う。

る35歳未満の方を要件とし、返還額の2分の1、最大250万円まで支援することになっている。昨年度に国の支援制度が改正された

者に定住してもらうことは人口減少の進みを穏やかにするとともに、市内経済の活性化にもつながることから、今後検討していきたい。

間、爪、手首など手洗いを念入りにするよう指導している。また、修学旅行など郊外活動における感染予防

答 市長 今年度には県が行った調査によると、岩手県と宮古市・一関市・陸前高田市の3市が就業先等の要件を定めて、奨学金返還支援制度を活用した支援を実施している。県では、制度対象となる県内企業52社に就職し、県内に8年間就業及び居住の見込みのある

が、それまでは地元産業界と協力して基金を設置しなければならぬため、二戸市では検討してこなかった。また、特別交付税対象とするためには、二戸まち・ひと・しごと創成総合戦略に位置づけることが必要で、財政負担が生じるなどの課題もある。しかし、若

学校におけるコロナ対策

問 学校における感染予防策及び修学旅行や学校内外の活動における予防策について伺う。

答 教育長 学校における予防策として、給食の前やトイレの後、教室の入口など、指先や指の



学んだことを地元に戻って活かします

として具体的には、修学旅行は11月以降に延期したうえで感染状況をふまえて実施の可否を判断する。部活動については原則校内で2時間以内とし練習試合及び合同練習は県内外問わず禁止することとして通知している。



國分 敏彦 議員

問 観光振興には寂聴記念館の新設が不可欠ではないか。甘味処となつたかつら庵は今後どうなるのか。

答 市長 記念館の新設については、岡本小学校跡地活用の一つの案として検討した時期もあったが、天台寺周辺地区を公民連携基本計画の重点地域に位置付けていることから、現在は、漆文化の継承と産業振興に向け、浄法寺歴史民俗資料館や重要文化財収

寂聴記念館新設についての考えは

現時点で新設する計画はない

蔵庫として活用する検討を進めている。したがって現時点で記念館を新設する計画はない。また、かつら庵については、甘味処としての従業員を確保できないことと採算面で厳しいという理由から、本年度は金曜日から日曜日までと祝日に営業することとした。

地域経済活性化

問 プレミアム商品券は地域経済を活性化させるのではないか。市の経済

答 市長 これまで第7弾にわたりコロナ対策を実施してきた。その時々の状況に応じて緊急度優先度を考慮して事業を行ってきた。その過程においてプレミアム商品券についても検討を行ったが、直接事業者を支援する持続化支援給付金事業や事業継続支援給付金事業などのほうが優先度が高いと判断してこれまでの事業を実施してきたところである。

問 学力学習状況調査 どのように現状を分析しているのか。今後の取り組みは。

答 教育長 小学校6年生の国語は全国を上回り、算数は全国と同等の正答率であった。中学校3年生の国語は全国を若干上回り、数学は全国を下回った。中学校3年生の数学に課題が見られる状況であった。学力の捉え方は、学びに向かおうとする姿勢や、コミュニケーション能



電子黒板やタブレットによる授業のようす

令和3年8月 臨時会

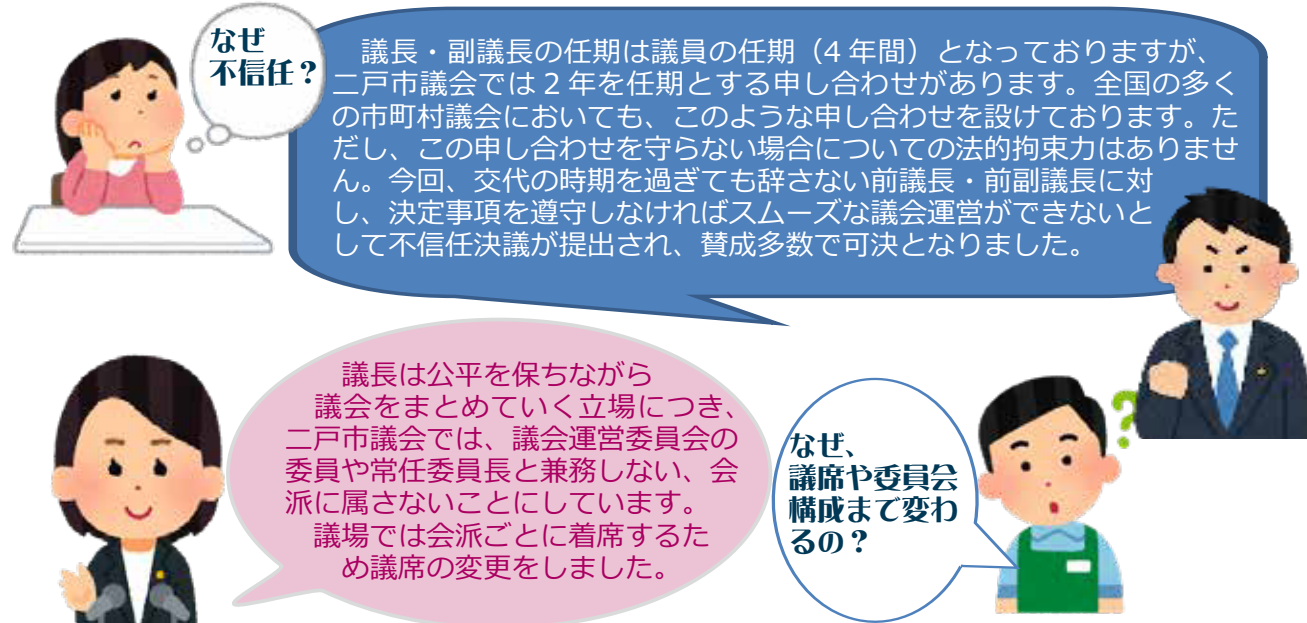
令和3年8月12日に令和3年8月臨時会が招集され、市長提出の報告2件について審議がなされたほか、任期中2年ごとに改選となる各委員会の所属替えが行われました。

当日、米田誠議長に対する不信任決議及び田中勝二副議長に対する不信任決議の動議が出され、いずれも可決されました。

- 報告第1号【株式会社カダルミライの経営状況について】
- 報告第2号【株式会社カダルエステートの経営状況について】
- 【常任委員会委員の選任】
- 【議会運営委員会委員の選任】

※改選後の各委員会委員構成は3頁を参照ください。(ただし、臨時会第2回後の決定を掲載)

※議長及び副議長に対する不信任決議の内容については、下記のとおりです。



令和3年8月 臨時会(第2回)

令和3年8月27日に令和3年8月臨時会(第2回)が招集され、市長提出の議案2件について審議がなされたほか、議長及び副議長から辞職願が提出され、議会の承認を得たことに伴う正副議長の選挙が行われました。

この選挙により、新たに岩崎敬郎議長と三浦利章副議長が選出されました。

また、正副議長の交代に伴い、常任委員会委員、議会運営委員会、議席の一部が変更になりました。(変更後の各種委員会構成は3頁を、変更後の議席は12頁下段の表をご参照ください。)

- 【諸般の報告(副議長の辞職について)】
- 【議長の辞職について】
- 選挙第3号【二戸地区広域行政事務組合議会議員補欠選挙】
- 議案第1号【市道馬場長瀬線歩道設置工事(第4工区)及び斗米橋橋梁補修工事(第4工区)合併工事の変更 請負契約の締結について】
- 議案第2号【令和3年度二戸市一般会計補正予算(第7号)】 補正額 1,100万円
- 【常任委員会委員の変更】
- 【議会運営委員会委員の辞任(岩崎敬郎委員)】
- 【閉会中の委員会活動について】
- 選挙第1号【副議長選挙】
- 選挙第2号【議長選挙】
- 【議会運営委員会委員の辞任(三浦利章委員)】
- 【議会運営委員会委員の補充選任】
- 【議席の一部変更について】

議会活動の報告(8月から10月)

8月23日	広聴広報委員会 会派代表者会議	議会改革推進協議会 会派代表者会議	10月26日	議会改革推進委員会 ICT推進委員会
8月24日	議会改革検討委員会 会派代表者会議	9月2日 議会運営委員会	10月4日	議会改革推進特別委員会視察 ICT推進委員会
8月26日	会派代表者会議 臨時会	9月6日～24日 9月定例会	10月5日	ICT推進委員会
8月27日	会派代表者会議 総務常任委員会 文教福祉常任委員会 産業建設常任委員会 議会運営委員会	9月9日 広聴広報委員会 会派代表者会議	10月7日	広聴広報委員会広報部会 議員全員協議会
8月30日	議員全員協議会	9月22日 市政調査会臨時総会 議会運営委員会	10月15日	議会改革推進特別委員会 ICT推進委員会
		9月24日 議会改革推進協議会 議会改革推進特別委員会	10月19日	議会改革推進委員会 ICT推進委員会
			10月21日	ICT推進委員会



畠中 泰子 議員

土地区画整理事業仮住居不足への対策は

民間賃貸住宅の活用、地権者と協議

問 土地区画整理事業の長期化で、地権者の高齢化、空き家化、世代交代、商業地域の機能の弱体化等、不安や悩みの声を聞く。当事業の課題と対策は。

答 市長 平成8年着手以来25年が経過し、進捗率は面積ベースで56・1%である。長い時間を要し、土地利用等に一定の規制をかけるなど多大な迷惑をかけており、課題と捉える。広報や説明会での説明や清算金に関する制度創設の対応してきた。

問 昨年度から移転が早まり対象戸数も多く、地権者は仮住居探しに苦労している。空き家対策との連携や市仮住居の増設は。

答 市長 仮設住宅は台中平地区に7棟、倉庫2棟、前田地区の旧農協支所を改築した仮住居2世帯分、倉庫11部屋を活用し、満室の場合、家賃や倉庫に必要な費用を移転補償している。市内には民間賃貸住宅が多く、地権者に情報を提供し協議して進めたい。



家屋の解体や移転が進む二戸駅前地区

問 窮世帯への更なる支援策は。

答 市長 国等の動向も注視し、支援の時期や支援策を検討していく。小中学校へのスクールサポートスタッフは巡回ではなく、1校1名とすべきではないか。

答 教育長 県教委により感染症対策などのため12学級以上の学校に1名、12学級未満の小学校には5校で1名配置されている。市教委での新たな配置は考えていない。

問 6月議会で取り上げた後、各学校保健室に配置されたが、トイレへの設置等、更なる工夫は。

答 市長 8月中旬から婦人相談窓口及び市内小中学校保健室に生理用品を配置している。配布方法や場所は、今年度の状況を踏まえて検討していく。

答 教育長 単にトイレなどに配置するのではなく、養護教員が保健室で直接提供することで児童生徒の困りごとや悩みなどが把握でき、早期に必要な支援につなげることができると考えている。



女性)

A cartoon illustration of a young man with black hair, wearing a dark blue long-sleeved shirt with three yellow buttons. He is sitting at a brown wooden desk, leaning forward with his hands on a white book. There are three yellow stars on the desk: one to the left of the book and two to the right. The background is a light purple wall.

議会改革に本気です

9月定例会最終日に、これまで組んでいます。「市民目線」で「議会改革推進協議会」とし各種の活動を進めていきます。

声のひろば

地域のみなさまの健康増進のために

金田一地区

KOE NO HIROBA

いしざわ
石澤

しゅんすけ
春輔さん

(33 歳)

2011 年 4 月に二戸スイミングスクールに就職して今年で 10 年になります。二戸スイミングスクールは 1992 年 2 月に開校し、2022 年 2 月に 30 年の節目を迎えます。二戸市内で唯一の、年中泳ぐことが可能な室内施設です。

現在は、3 歳のお子様から 95 歳の方まで、幅広い年代にご利用いただいております。また、施設にはプールだけではなく、有酸素運動が行えるトレーニングルームも併設しております。これからも地域のみなさまの健康づくりのお手伝いができるよう努めてまいります。



このコーナーでは、市民の皆さまのまちづくりに対する思いを紹介します。
みなさまと一緒に、このまちの未来を考えていきたいと思ひます。

紙面の中から答えを見つけてね！

議会だよりクイズ

下の○に当てはまる言葉を入れてください。

「『二戸市議会○○○化推進に関する要望書』」を市長に提出しました。」

答えは 3 文字！

(前回の答え…「転倒予防」)

◆ 応募方法

クイズの答えと住所、氏名、年齢、**議会へのご意見や議会だよりを読んだ感想などを必ずご記入**のうえ、ハガキやファックス、電子メールにてご応募ください。正解者の中から抽選で 5 人に二戸市共通商品券 1,000 円分をお贈りします。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

※ご意見、感想等は議会だよりの紙面でご紹介させていただくことがありますのでご了承ください。(氏名非公開)

◆ あて先

〒028-6192 二戸市福岡字川又 47

二戸市議会事務局 議会だより係

FAX：0195-23-1633 / メール：gikai@city.ninohe.iwate.jp

◆ 締切

令和 4 年 1 月 10 日 (月) ※ 当日消印有効



議会を傍聴

してみませんか

本会議は当日の受付で傍聴できます。傍聴を希望する場合は、議会開催日に市役所 3 階へお越しください。車椅子をご利用の方も傍聴可能です。

また、市役所および浄法寺総合支所の 1 階ホールでは、テレビで議会中継を見ることができます。 ※ 9 月定例会の傍聴者は 58 人 (延べ) でした。



議会だより編集担当 (広報部会)

(後列左から時計回り) 内沢委員、小田島副部会長、沼井委員、田口部会長 石輪広聴広報委員長

まだ安心できませんが、コロナ感染症も少し明るい兆しが見えてきました。
市議会も、従来の会議などの延期や中止、あるいは規模の縮小が続くなか、密にならないよう気を配りながら活動を続けています。
さて、10 月末の総選挙を皮切りに、年明けには市長選挙、市議会議員の補欠選挙と続きます。二戸市の投票率は県内で最下位です。選挙権が 18 歳からになったことを機会に、若い人達にも「政治は生活に直結する」ということを感じていただきたいと思います。
市民のみなさんに選挙に行っていただき、二戸市を元気にするまちにしていきたいでしょう。
(田口 一男 記)

編集後記

右の QR コードからも
ホームページにアクセス
できます→



二戸市議会のホームページ
二戸市議会のメールアドレス

<http://www.city.ninohe.lg.jp/info/2148>
gikai@city.ninohe.iwate.jp